

荒井歯科医院が
あなたに伝えたい言葉

はじめに

突然ですが、歯に興味がありますですか？

「別にないわよ。毎日忙しいし、歯どころじゃないわよ。

それに治療したらお金もかかるし、日数もかかるし、

痛いし、だいたい歯医者なんてキライ！」

——— そうですよ。フツーそんなところですよ。

でも、それだと確実に将来困ることになります。

今日は、こうして私たちの医院に来て下さったあなたに、

これさえ読めば、

「みなさんが、お口に関して、

ハッピーに一生すごせるただ一つの方法」を

お話ししようと思います。

第一章あなたの不満

あなたは今まで、いい歯科医との出会いがありましたか？

もし不幸なことにいい出会いがなかったとしたら、あなたの歯科医に対する不満は、以下のようなではありませんか。

「怖い！痛い！」 「私の話をちゃんと聞いて」

「ちゃんとわかるように説明して」

「治療費が高いゾ。ポッタくられてそう」

「短期間で終わらせてよ」

「みがいてるのにまた虫歯になったゾ！」

その他、たくさんありますよね。

こういう気持ちが、私には、とてもわかります。

私自身、大学を卒業して、勤めはじめてから、

「え??」「こんなんでもいいの??」

「患者さんはこれで納得してくれてるの？」

というできごとに、毎日、直面してきましたから。

あなたが思われるご不満はもつともだ、と思います。

第二章 歯科の実態

第一章で「あなたの歯科医に対する不満はもっともだ」とお話しました。そこで、どうしてそうなってしまっているのかという事情を二章、三章で説明しようと思います。

まず歯科の実態を知って頂きたいのです。

下に書いてあることが保険でいくつできるか考えながら

読んでみて下さい。

- 「なるべく長持ちする材料で治療してくれ」
- 「目立つから、下の奥歯の銀歯を白い冠にしたい」
- 「親知らずがはれている。島に帰るからせめて4～5日分
化膿止めをくれ。島には歯医者がないんだ!」
- 「一年ぶりに時間をつくって来たんだ。
忙しいから、今日1日で歯石を上下とも取って」
- 「4ヶ月前に別の歯医者で入れ歯をつくったが
できが悪くてかめない。新しく作って1」

どれも、もっともな要望だと思います。

少なくともいくつかは、できそうですよね。

— でも答えは"ゼロ"です。すべて保険ではできません。

法的にはすべて不正行為、違反となり、

行った歯科医師は、罰則をうけることとなります。

医科ではほとんどのことが保険でできますが、

歯科では、一部又は最低限のことが保険でできるだけです。

なんということでしょう。そして、この事が歯科医と

あなたの最も大きなIV1のカベを作ってきたのです。

「医科と歯科はちがうんです！」

患者さんに対し、その時代の最良の治療をしてあげたい、

なるべく長持ちするように治療してあげたい、

という信念に目をつぶり、「ああ、いい方法があるけど

保険では認められていないから、仕方ないな」と

罪の意識を持ちながら診療しているのが、

ほとんどの歯科医なのです。 残念！

第三章治療費は高い？ハンバーガー1個10円？

第二章で、保険ではかなり制限があるという歯科の実態を

お話をしました。歯科治療費のことにもふれておきます。

日本と海外の歯科治療費比較を見て下さい。

日本と海外の歯科治療費比較(単位は円)

	日本	アメリカ	イギリス	フランス	ドイツ	スイス	カナダ
歯石除去	732	12,566	13,630	3,144	1,779	4,626	6,366
複合レジン充填 ※1	2,851	25,724		11,880	6,218	14,658	10,567
インレー ※2	5,795	108,101		25,661	23,993		
根管治療 ※3	5,839	108,011	92,220	43,920	14,146	36,601	52,764
支台築造 ※4	1,707	41,138	12,180	24,840		21,168	7,703
メタルCr ※5	9,139	111,732	109,330	108,000		66,276	50,536
抜歯	2,467	38,993	5,220		49,225	18,522	
X線標準 ※6	451	2,030		3,681	1,132	1,426	868
X線パノラマ ※7	3,202	12,660	6,960	18,252	5,574		3,273

(東京医科歯科大学川渕孝一教授データより)

※1白い樹脂のつめもの

※2型を取ってはめる小さな金属

※3歯の神経をとる治療

※4神経をとった歯にたてる土台

※5歯にかぶせる金属の冠

※6小さなレントゲン

※7大きなレントゲン

日本の歯科治療費が、世界の他の国の数分の1～
数十分の1と言うものすごい安値になっているのを
ご理解下さい。

アメリカで、ハンバーガー1個150円とすると、

日本で1個10円そんなレベルでしょう。

外国が高いんじゃないありません。日本が超激安なのです。

外科で医療事故がおこるのは、あまりに安い治療単価に
起因するものであり、管理では解決できません。

たまに「患者さんがたくさんで、もうかりますでしょう」
などと言われますが、はっきり言って、「保険でもうかる」
なんてことは、ありえません！

単価が安いので、時間もそんなにかけられません。

治療に使う材料はいい物を使えません。

十分に話をうかがって、十分に説明をして————を
めざして頑張ろうとは思っているのですが————。

また、保険で使う金属は『代用の金属』と法で定められて
います。さびますし、もちも当然よくありません。土台の
金属にいたっては、7時間でさび始めると言われています。
もちろん歯も悪くなります。さびにより悪くなっているの
に、虫歯だ!とごまかされてきています。

そう今まで思い込まされていませんか？

修復物の平均使用年数

修復物の平均使用年数

修復物	平均使用年数
レジン充填(白い樹脂のつめもの)	5.2年
インレー(型を取ってはめる小さな金属)	5.4年
鑄造クラウン(歯にかぶせる金属の冠)	7.1年
ブリッジ	8.0年

(森田学ぶ先生データより)

ちなみに他国であたりまえに用いられている"貴金属"の

修復物は3.5倍の耐久性があるといわれています。

しかも金属をつかった治療は、近い将来、現在の3割負担

から5～10割負担になるといわれています。

どうします？

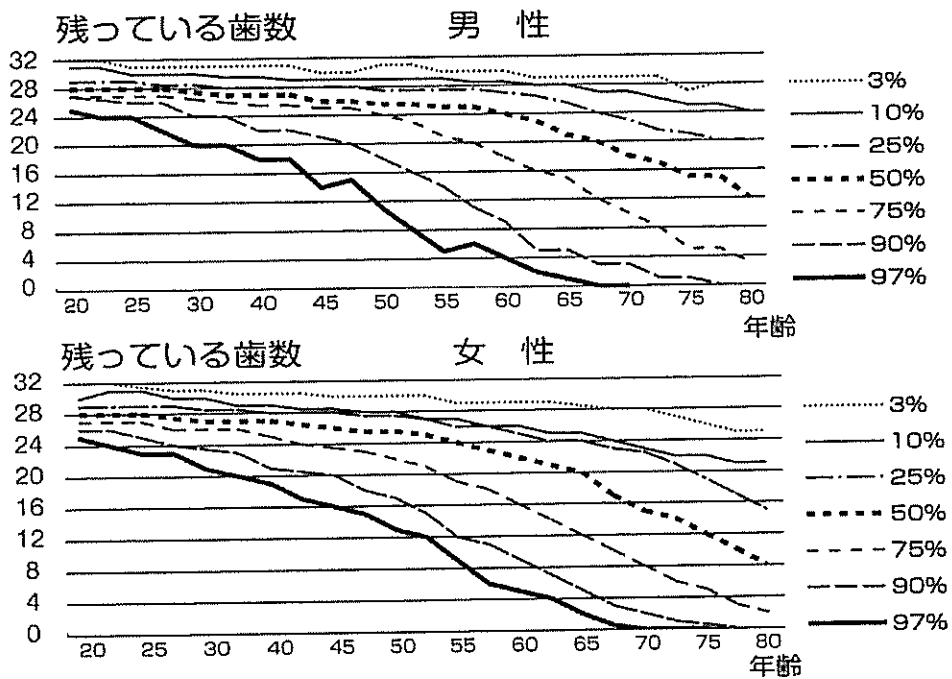
虫歯にしないほうがイイですね。

第四章 あなたの現在、未来

さて、歯科医療というものをわかっていただいた

ところで次は、あなたのお口の現状の分析です。

ここに東京の2000年の表があります。



よくみて下さい。100人中、上位から3~97%の人の

それぞれのグラフです。

現在のあなたの年齢と残っている歯の数で

現在の様子と将来の様子がわかります。20本をきれば

まちがいなく、入れ歯かインプラントするしかありません。

それとも“歯なし”か、です。

8020運動というのは、80歳で20本を残す運動ではなく、

80歳で20本残る人を20%にする運動です。勘違いしないで

下さい。実体は8008なのです。歯磨きだけで20本残す

のは、ほとんど無理です。そもそも、予防歯科というものは、

歯石取りと器械によるクリーニングをいうのであって、

歯磨きは含みません。したがって、家でできません。

今日では、80歳の方は、予防に気をつけて歯科医院に

通い20数本の歯が残っている少数の方と、ほとんど歯が

ない多数の方に二極分化しているのです。

第五章 海外と日本

日本人の歯の悪さは世界でもトップクラスです。

良さではなく“悪さ”が、です。

日本の歯科は世界レベルから20年遅れているのです。

80才の方に残っている歯は、日本が女性7本男性8本

なのに対し、オランダは25本です。

私たち日本の歯科医は何をやってきたのでしょうか。

すでに世界では「歯科は歯が痛くならないように行く所」

であって、「歯が痛くなってから行く所」とは

考えられていません。

大切な身体の一部である「歯」を痛くなるまで放置して、

二度と元の状態に戻らないことも気づかず、平然と

削ってしまったり、神経を抜いてしまったりする、日本人

の考え方が異常なのです。

さあ、常識を塗り替えてください。

「一度悪くなった歯は、二度と治らない」のです。

「健康なときこそ、歯医者さんに行く。」

歯が残っているうちから、こういう常識に変えて

いかない限り、あなたは平均的な日本人と同じおそろしい

道をたどることになります。私は、あなたの大切な歯を

削りたくありません。抜きたくありません。

虫歯予防、歯周病予防のケアをしてくれる歯医者さんと

仲良くなりましょう。

そもそも「歯が痛くなる」なんてことにならないように

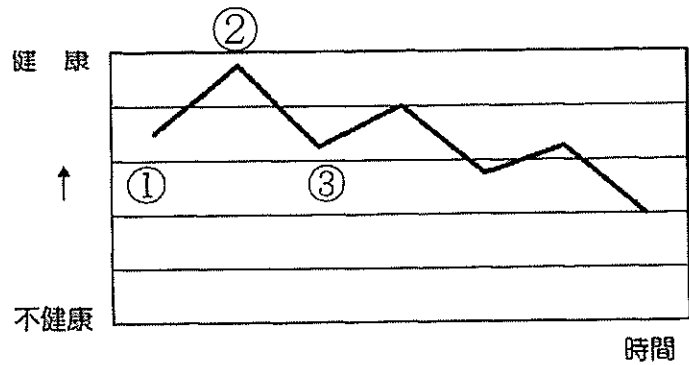
しましょう！

「予防歯科に通いましょう。」

これこそがあなたの歯を大切に守る唯一の方法なのです。

第六章 予防歯科

一般によくある患者さんの状態を図にかくと、
下のようだと思います。



あなたはすごく「不健康より」のところ (①) で初めて
私の所にこられますよね。で、歯を治して、健康になる (②)。
でも、あなたはきっと、ここで通院をやめてしまいます。
すると、歯はドンドン悪くなっていきます。
ですが、あなたはガマンしたり、先延ばしにして本当に
悪くなりきるまで来て下さらない。

そしてとうとう③の時点であきらめてやっと来ていただく、
でもその時は①よりは悪くなっている。そして…

こういうふうにはつめ、放ったらかして、かぶせ、
神経をとって抜いて…どんどん悪くなっていくのです。

歯が悪くなるということは、ガンや心臓病、脳梗塞、肺炎、
痴呆、高血症などになりやすいこともわかっています。

又、患者さんは「悪くなるまでガマンすること」が
何か「医療費の節約」のような気持ちになっているのだと
思いますが、これは実はまったく逆で、非常に大損を
することになります。

というのは、歯を定期的にケアする人は、しない人に比べ
生涯に払う医療費が5分の1で済むからなんです。

30年間で500万円の医療費が節約できるそうです。

あるいは、こういうことも考えられます。

歯が抜けてしまったとき、インプラントを入れようと思ったら、1本につき30万円位かかります。

セラミックの冠は8万円します。部分的にかぶせるだけで4万円はかかります。すべて1本につきですよ。

「こんなにお金がかかるなんて、歯を失うまで知らなかった」という方がほとんどなのです。

誰にも教えてもらったことがないからですね。

では「予防ケア」を続けた場合のコストは
どういふものかと言いますと微々たるものです。

保険で2～3ヶ月に1回2000～3000円位です。

(自費だと1回1万円位ですが。)保険でケアを行わない
ということは、すさまじい損失になるわけです。

今まであなたが行っていた歯医者さんが、治療終了後の
予防ケアに関して熱心に説明してくれなかったのは、

①保険の制度で予防はやりにくい。保険がききにくい。

ドロをかぶってまで保険でやるくらいなら、やりたくない。

②自費で予防をやるのは患者負担が大きく、理解を得られ
ないので九州では無理だと思う。

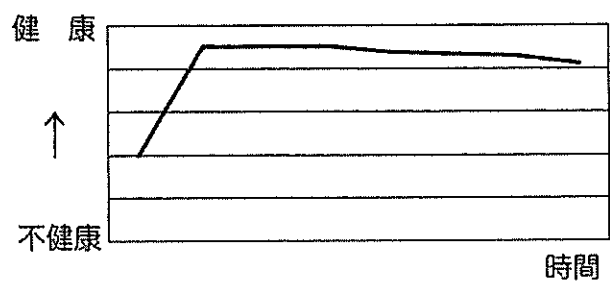
③一部を自費にすればいいけど、混合診療となり違法なの
でやっぱりできない。

以上①②③の理由です。

でも私たちは「利益」とかそういう考えではなく、いかに
「あなたのしあわせをお手伝いできるか」

「あなたの一番の味方となりえるか」というポリシーで
やっていますから、保険でクリーニング、つまり予防を
おすすめできるわけです。

あなたには治療が終わって健康な状態になったら、
その状態を次の図のようにキープして頂きたいと思います。
(ただし、年齢とともに、少しはおとろえますけどね)



2~3ヶ月に一度、保険を使ってクリーニングに来て下さい。

「何かあってから」歯科医院に通うのではなく、

「何も無いように」通って頂きたいのです。

おわりに

最後までお読みいただき、ありがとうございます。

保険診療はボランティアみたいなものです。

採算がとれなくても、あなたが幸せになる事を

幸せに思えるようなスタッフのいる歯科医院に、

あなたがめぐりあえることを願っています。

今後あなたはどのような目的でその歯科医院に

行けばよいのか、この冊子をお読みになってしっかり

理解されたはずです。

あなたやあなたの大事な人の健康な歯を虫歯や歯周病か

ら守るために、今すぐ、行動をおこして下さい。

私には、あなたが今までとちがい、ニコニコしながら

歯科医院のドアを開けるのが見えます。

そして受付で、言って下さい。

「歯を長持ちさせるために来ました」

「私自身を大切にするために来ました」

「私の人生を豊かにするために来ました」と。

私は一人でも多くの方が、虫歯や歯周病から歯を守る為

に進んで歯科医院に通っていただきたいと思い、この小冊

子を書きました。あなたの町の歯科医院も、徐々にではあ

りますが、治療中心から予防中心に変わろうとしています。

私はあなたに、そんな「患者さん思い」の歯科医院に

出会っていただきたいと、心から願っています。